



玉城 勇 議員

事故防止のため 停止線の設置を急げ

答 安全対策を検討し対応する

問 町内土地改良区内の安全と事故防止のため、各交差点に停止線の設置が必要である。対策は考えているか。

副町長 公安委員会が行う場合と道路管理者が行う場合がある。早い時期に地域と協議を行い、停止線を含めた安全対策を検討し対応する。

問 交通事故を減らす方法として停止線が必要である。写真は南城市津波古の土地改良区の停止線である。本町でも設置できないか。

総務部長 他市の例が示されているので確認をして、本町にもそのような対策を取っていききたい。



南城市土地改良区の停止線

待機児童対策は

問 現在の待機児童は何人で、待機児童解消対策はどのようなに考えているか。

副町長 現時点での待機児童は48人。これまででは、次世代育成行動計画により待機児童を解消するため認可保育所の増改築を図ってきた。今後は子ども・子育て支援事業計画により待機児童解消の対策を実施していく。

問 認可保育園の増園または分園について考えはないか。

副町長 平成26年度に子ども・子育て支援事業計画により、認可保育園の定員を増やす場合にはその方策として認可保育所の増園または分園及び増改築による定員増等を検討していききたい。

下水道普及の対応は

問 宮城地区において新たに住宅建築する場合、町が公共枡を設置しているが、予算は充分確保されているか。

副町長 宮城地区では農業集落排水事業により下水道が整備されている。新築の際に公共枡の設置要望があることから、町単独費で枡設置等の予算を検討して対応している。